

事業概要

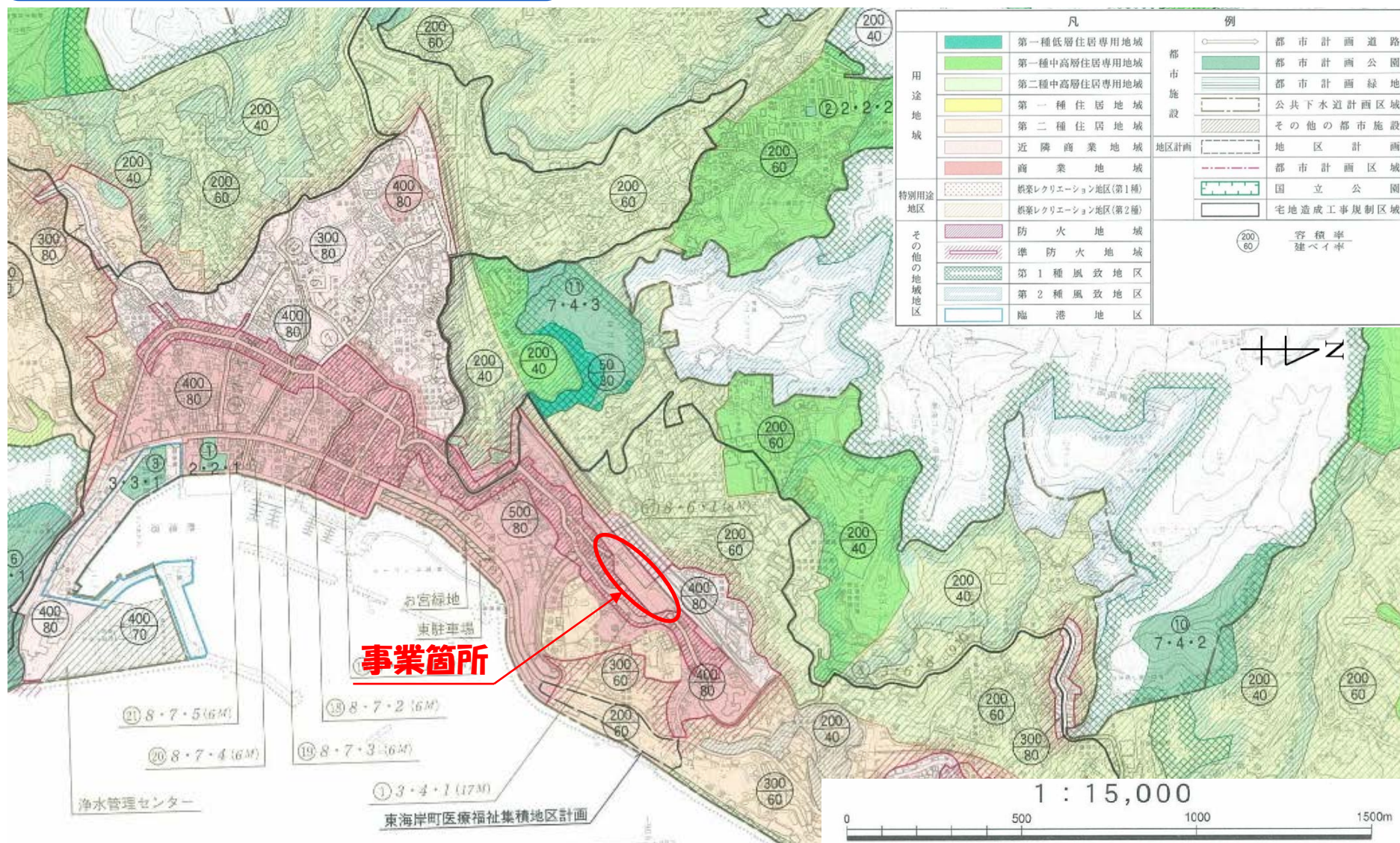
ふりがな 応募者名	あたみし かんこうけんせつぶ としせいびか 熱海市 観光建設部 都市整備課
ふりがな 事業の名称	あたみえきまえひろばせいびじぎょう 熱海駅前広場整備事業
ふりがな 事業主体	あたみし 熱海市
ふりがな 実施都市名	あたみし 熱海市
事業概要 (400字以内)	本事業は、熱海市の玄関口であるとともに伊豆東海岸の玄関口となっている熱海駅前広場の整備を実施した。以前の駅前広場は、一般車駐車スペースが少なく、公共交通・観光送迎バスの混在や道路により駅前広場とバスロータリーが分断されているなど、交通上の利便性及び安全性について課題を抱えていた。 整備にあたっては、地元町内会、商店街、交通事業者等を含めて50回を超える市民協議会を開催し、地域、関係者、行政が一体となり整備が行われた。 現在では、乗降場、駅舎から続くシェルター、観光案内サイン等の整備により、鉄道やバス、タクシー等の公共交通機関の円滑な乗換えが可能となり、住民や観光客の交流機能の拡充が図られ、安全・安心な都市空間として機能している。
事業規模	○事業延長： 整備面積 A=11,470m² ○事業費：1,219百万円 ○幅員： ○事業期間：平成22年度～平成28年度
事業の目的	一般車とタクシー等の混在やバスロータリーが道路により分断されているなど、交通上の利便性及び安全性に課題があった。また、一般車の駐車スペースが少なく、タクシー及びバスの駐車スペースが広く確保されていた。そのため、一般車と公共交通の分離や歩行者空間の確保、公共交通の安全で円滑な利用が図られることを目的としている。
事業効果 (効果一覧を参考に 具体的な効果を記入)	熱海駅前広場整備の実施により、熱海駅の年間乗降客数は整備前の平成22年度では約497万人だったが整備後の平成28年度では約534万であり、観光交流客数も562万人から657万人に増加している。現在では、駅前広場や近隣商店街が平成28年11月に完成した駅ビルとの相乗効果により、市民、観光客で賑わいをみせている。
地元対応等 (・地域住民との協働等 ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点)	駅周辺基本構想の策定を平成15年3月から平成16年3月に行い、その間に市民、団体、学識経験者による市民懇話会を開催し、駅前広場整備に関する提言者が報告された。その後、町内会、関係団体、交通事業者等へ36回の意見交換を行い、平成20年9月に町内会、関係団体、交通事業者による駅前広場策定市民協議会を発足し、駅前広場完成後の平成29年11月までの間に53回の協議会を開催し、地域の意見を聞きながら事業を行った。

事業位置図

静岡県

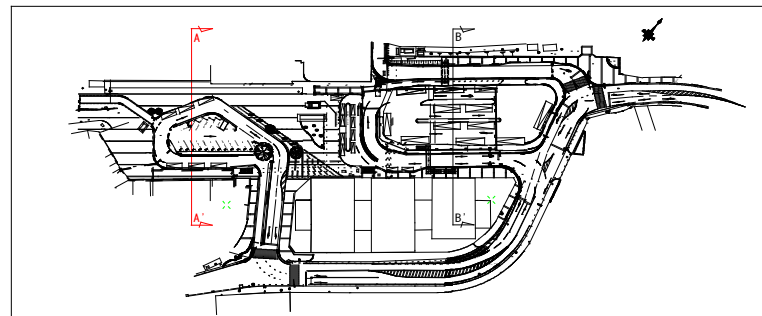


都市計画図(用途地域図)



断面図1

S=1:250

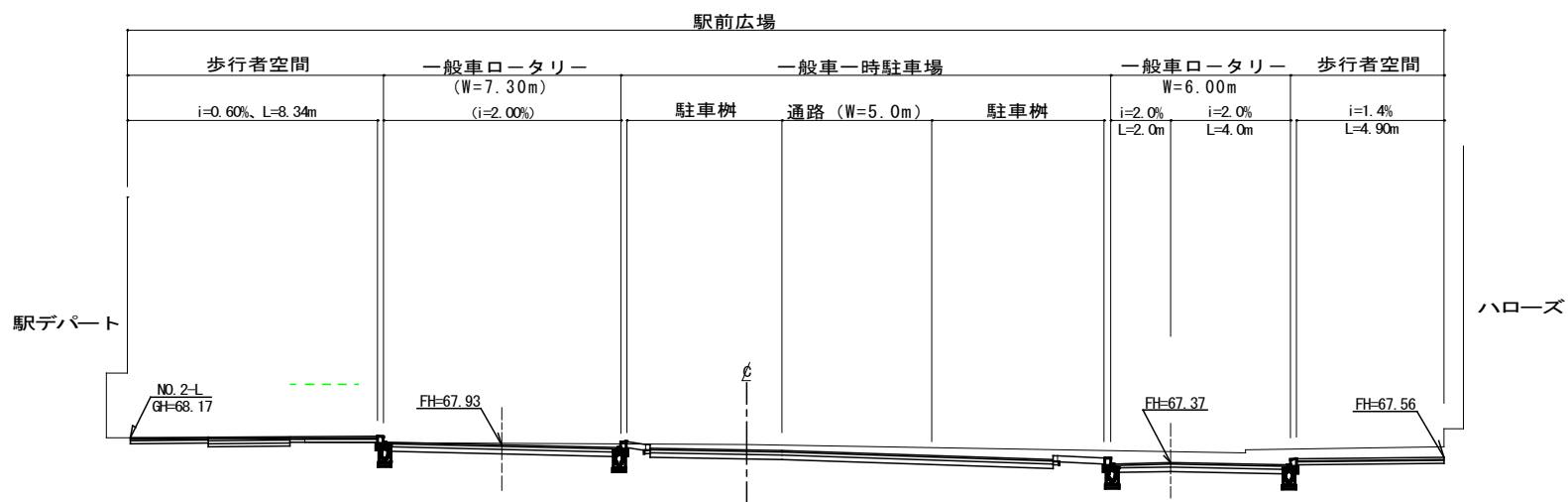


一般車ロータリー一部 (A-A')

NO. 2

GH=67.95

FH=67.76



断面図2

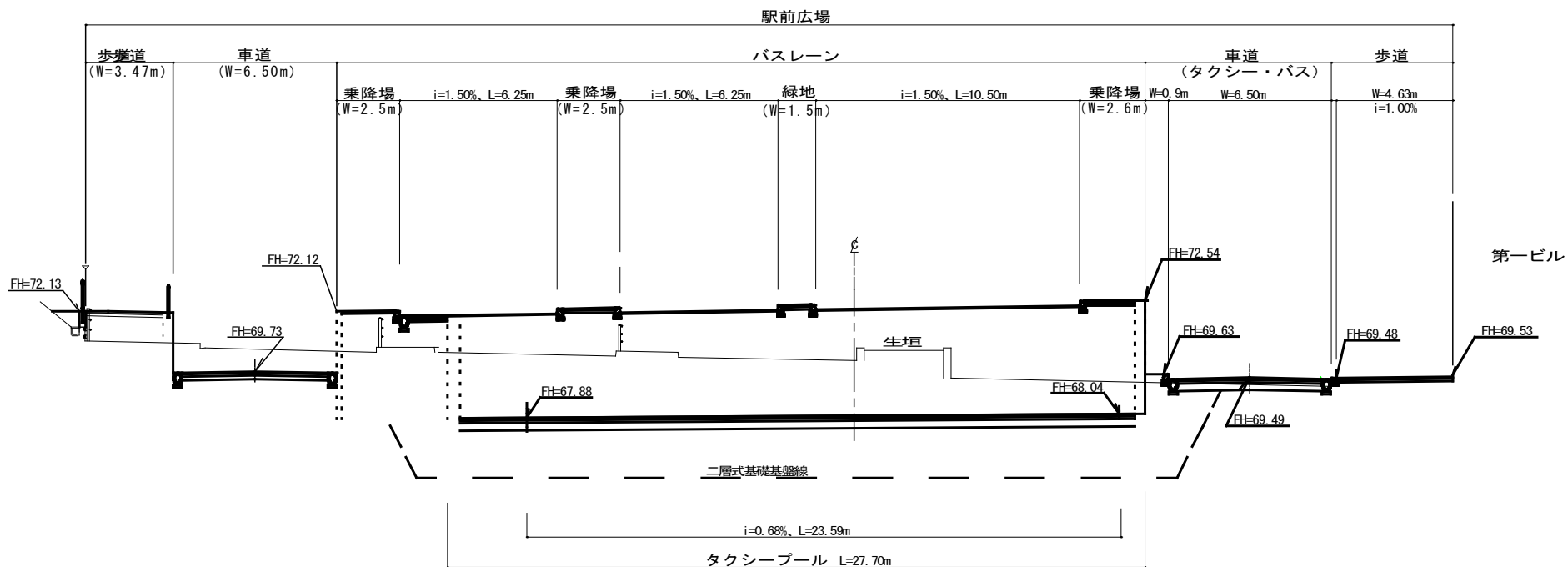
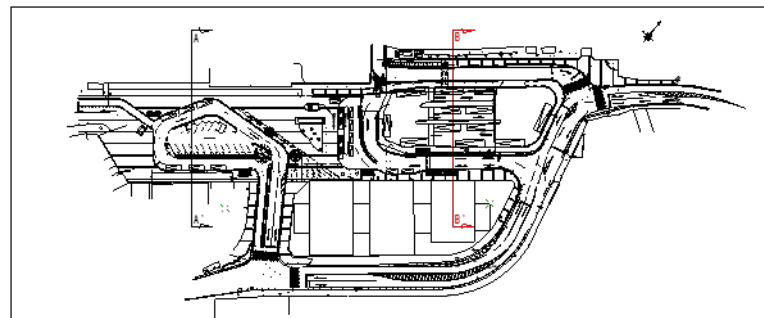
S=1:250

バスロータリー部 (B-B')

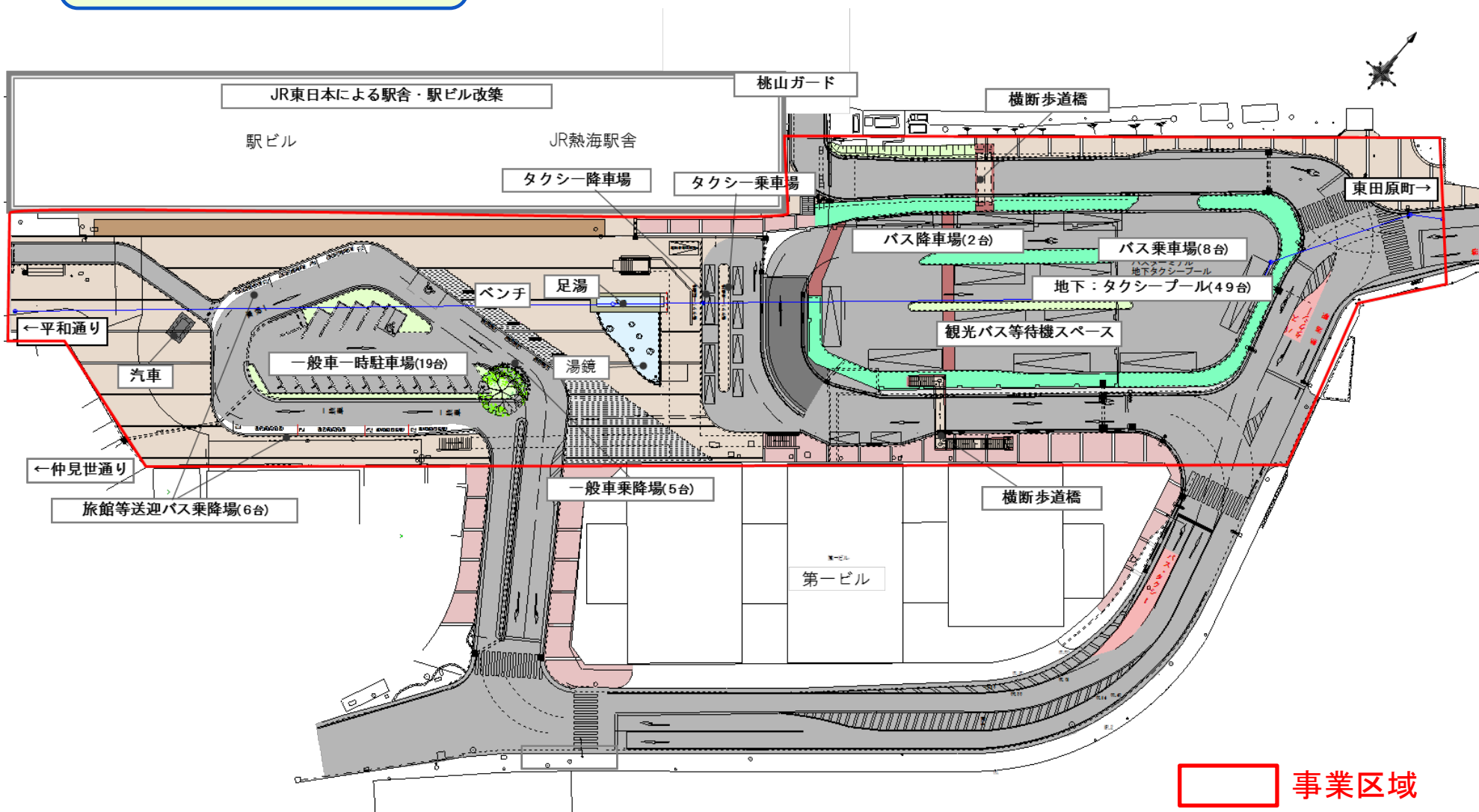
NO. 8

GH=70.17

FH=72.21



路線全体の進捗状況



事業前写真



平成21年4月撮影



平成21年4月撮影



平成23年3月撮影

事業後写真



平成29年2月撮影

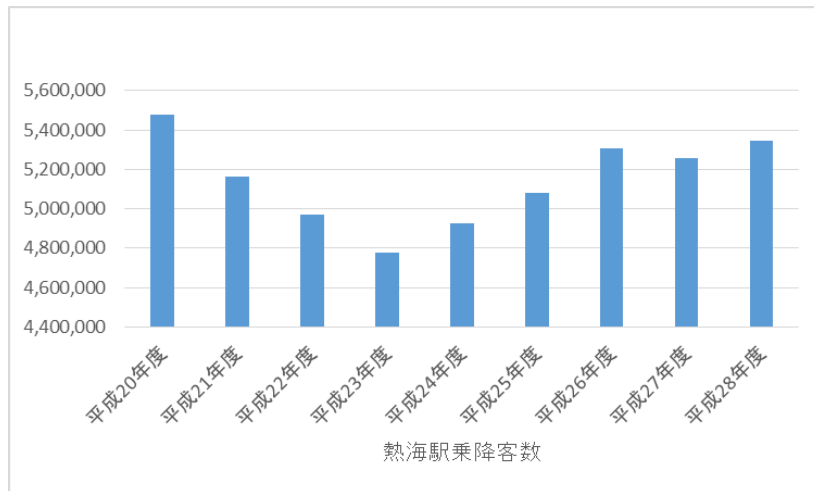


平成29年2月撮影

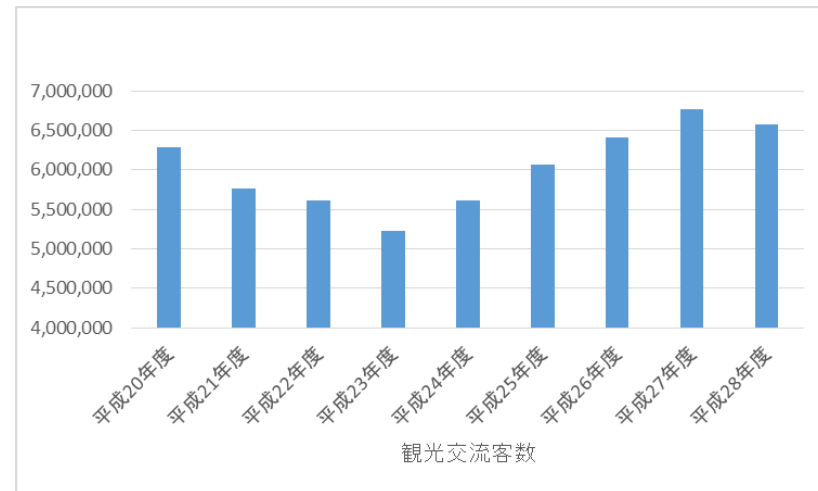


平成29年9月撮影

熱海駅前広場の事業効果アピール資料



(出展:平成29年版熱海市の観光)



(出展:平成29年版熱海市の観光)

「事業効果」

- ・ 熱海駅乗降客数が、整備当初の平成22年度497万人から整備完了の平成28年度には534万人に増加した。
- ・ 観光交流客数が、鉄道利用者の増加と共に平成22年度562万人から平成28年度は657万人に増加した。
- ・ 一時駐車場や公共交通ロータリーの整備により鉄道利用者に限らず、市民や観光客の利用者が増え、駅前広場や周辺商店街に賑わいをみせている。
- ・ 平成28年11月にJR東日本が整備した駅舎、駅ビルが、駅前広場整備にあわせたことにより、賑わいへの相乗効果を生んでいる。

熱海駅前広場の事業効果アピール資料



熱海駅改札前



熱海駅改札前～駅ビル前



商店街入口



商店街

報道資料

静岡新聞H27.8.21



タクシー乗降場 並列化

JR熱海駅前 改札口へ距離半分に

熱海市はJR熱海駅前広場の改善整備事業の一端で進めてきたタクシー乗降場の並列化工事を終え、20日に供用を開始した。駅へと急ぐ観光客や市民らの利便性の向上を図ろうと、改札口まで約85メートルあった旧降車場を約40分の位置にある乗車場の隣に新設した。

並列工事はタクシープール内のレーンを並列化されたタクシー乗降場。写真手前のレーンが降り場、熱海市のJR熱海駅前広場。

2012年度に終えられたタクシープール整備車目的のタクシーは、これまでの倍となる4台が一度に止められるようになり、繁忙期の停車渋滞の緩和も狙う。

歩道から乗り場への横断スペースを明確化し、事故防止を徹底する。身体障害者用の乗降場は改札により近い場所に別途用意した。

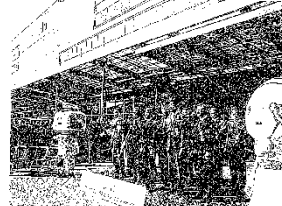
2012年度に終えられたタクシープール整備車目的のタクシーは、これまでの倍となる4台が一度に止められるようになり、繁忙期の停車渋滞の緩和も狙う。

歩道から乗り場への横断スペースを明確化し、事故防止を徹底する。身体障害者用の乗降場は改札により近い場所に別途用意した。

熱海・新駅ビル誕生 官民で魅力発信

熱海市はJR熱海駅前広場の改善整備事業の一環として、駅ビル「ラスカ」の建設を進めている。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。

民間投資を促す好機に



旧駅舎の南側に建設される「ラスカ」駅ビル。11月25日、JR熱海駅前広場。

駅ビル「ラスカ」盛況、1日2万人来店



熱海観光案内も 問い合わせ激増

情報発信 伊豆全体の玄関口に

熱海市は、駅ビル「ラスカ」の開設に伴い、観光案内の問い合わせが激増している。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。駅ビルは、駅舎の南側に建設され、駅舎と一体化して利用される。

静岡新聞
H29.1.27

中日新聞
H29.2.2